

平成27年度 鳥取県文化功労賞

入場  
無料

# 受賞記念 巡回展

平成28年 1月21日(木) ~ 1月25日(月)  
米子市美術館 (第1展示室) 10時~18時 休館日: なし

平成28年 1月29日(金) ~ 2月 3日(水)  
鳥取県立博物館 (第3展示室) 9時~17時 休館日: なし

平成28年 2月17日(水) ~ 2月22日(月)  
倉吉未来中心 (リハーサル室) 9時~17時 休館日: なし

植物学



陶芸



きよすえ ただと  
清 末 忠 人  
鳥取市

演劇 なかしま まこと  
中 島 諒 人  
鳥取市

やまもと こうさい  
山 本 浩 彩  
倉吉市

## 各会場へのアクセス



米子市役所有料駐車場をご利用ください。  
2時間以内は無料の処理をいたします。

米子市美術館

米子市中町12  
電話 0859 (34) 2424



鳥取県立博物館

鳥取市東町二丁目124番地  
電話 0857 (26) 8042



倉吉未来中心

倉吉市駄経寺町212-5  
電話 0858 (23) 5390

主催/鳥取県

お問合せ

鳥取県地域振興部 文化政策課

電話 0857 (26) 7133 ファクシミリ 0857 (26) 8108 E-Mail bunsei@pref.tottori.jp

鳥取県では平成15年度から、優れた芸術文化活動により広く文化の振興に功績のあった方の功績を讃えて表彰し、県民文化の向上に資することを目的として、鳥取県文化功労賞を設置しています。

本巡回展は、平成27年度に受賞された方の功績と活動を広く県民のみなさまに紹介するものです。

## [ 本年度受賞者のみなさん ]

### 植物学

きよすえ ただ と

清末 忠人

鳥取市



昭和6年生まれ。

鳥取大学学芸学部卒業後、小学校教諭となり、東京教育大学で植物分類学を専攻。鳥取県立博物館学芸員を経て教育センター所長、小学校長などを歴任。鳥取生物友の会会長、鳥取自然に親しむ会会長などをつとめる。

長年にわたり鳥取を中心に幅広く郷土の植物等の調査研究に励み、その成果をわかりやすく解説した著書を多数出版。県民の自然に対する愛着と造詣を深めることに大きな役割を果たした。現在も新聞への寄稿や書籍の出版などを精力的に行いながら、現地での指導や講演活動にも励み、子どもから大人まで幅広い層に対し、自然を通じて知的好奇心に働きかける活動を続ける。

鳥取県出版文化賞（平成3年）、鳥取市文化賞（平成9年）などを受賞、平成16年には瑞宝双光章を受章。

倉吉市

やまもと こうさい

山本 浩彩

陶芸

昭和24年生まれ。

昭和47年に父である国造焼二代目浩彩（弥之助）に師事し、研鑽を積む。昭和56年から全国規模の公募展に出品を重ね、昭和59年に日本伝統工芸展に初入選、以後入選は24回、また、平成元年に日本陶芸展に初入選、以後入選は12回を数える。田部美術館大賞優秀賞、日本伝統工芸中国支部展日本工芸会賞、日本伝統工芸展日本工芸会奨励賞、日本伝統工芸中国支部展金重陶陽賞など、数々の賞を受賞。

国造焼の焼締めの技法を受け継ぐ一方で、色彩の変化の研究を重ね、新たな独自の色の世界を生み出した。日本工芸会正会員。平成27年9月11日に鳥取県指定無形文化財「陶芸」保持者に認定。



### 演劇

なかしま まこと

中島 諒人

鳥取市



昭和41年生まれ。

東京大学在学中より演劇活動を開始、卒業後、東京を拠点に劇団を主宰。国内外での演劇活動を経て、平成18年、鳥取市鹿野町の使われなくなった幼稚園、小学校を拠点に「鳥の劇場」を創設した。現代劇の創作・上演のほか、地元地域とタイアップした大規模演劇祭の開催、地域や教育現場でのアウトリーチ活動など、多様な事業を展開。演劇が持つ本来の力を通じて、一般社会の中に演劇の居場所を作り、その素晴らしさ、必要性が広く認識されることを目指す。

地域社会における劇場、演劇の役割を模索するこうした取組などが評価され、平成21年に芸術選奨文部科学大臣新人賞（芸術振興部門）を受賞。